音楽への道(作編曲・制作～プロデュース)を目指して芸術大学へ

早　川　　勇（電気 39）

ついに趣味の音楽が“本格的な音楽への道を目指して”に変身してしまい自分でも驚いている。“諦めなければ夢は叶う”の小さな例です。現在は作編曲～プロデュースまで行って歌手を発掘してサポートやインディーズデビューをしています。

思えば山梨大学時代は軽音楽部のジャズバンド（楽器：テナーサックス）で音楽をしていました。当時の2講座に所属し、古屋先生や数野先生にお世話になり、そこで学んだ電機の技術を生かすために中堅電機メーカ（旧：神鋼電機、現：シンフォニアテクノロジー）に入社しました。

入社後は設計部で産業用プロセスラインの制御システムの設計を行い、好きな音楽（楽器演奏）はキッパリ止め、高度成長時代の企業戦士として仕事一筋で過ごしました。'00年には代表取締役副社長となりましたが、暇を見付けて趣味のオリジナル音楽制作、最新機材とソフトウエアの勉強や技術取得に挑戦していました。

'06年に現役を引退した時に、基礎から本格的に音楽を勉強したいと思い、予備校を兼ねて三つの音楽スクールに通いながら、名古屋芸術大学音楽学部に“サウンドメディア・コース”があり、理論～作編曲～コンピュータ制作～スタジオ録音・制作～プロデュースまで一貫したのがあると知り受験を決意しました。数十年ぶりの猛受験勉強の結果'07年4月に3年編入学しました。

ところが3年編入生となって、想定範囲外の三つの大問題に遭遇した次第です。

まず一つ目は『3年編入生にとっては超難しい学問レベル』でした。つまり、1～2年の専門科目の履修完了を前提として全てのカリキュラムがあるのです。だから3～4年の授業が全く理解出来ないのです。(しかもコンピュータは全て未経験のMac) 幸いにも先生達が親切で、授業以外に“小生が独学で勉強した1・2年生分を質問して教えて頂き会得”を歯を食いしばって毎日頑張り、これをクリヤーしました（独学80%と教え20%位のイメージ)

二つ目の大問題は『計5時間の満員電車の毎日通学（片道2時間半)』です。6時前起床、自宅を6時半に出て学校に9時前に着き終日受講し、受講後は図書館や演習室でその日の復習をし、終車で帰宅が夜10時過ぎ、それから課題等を自宅でする。土日はリカバリーや課題制作等に全てを費やし、残ったのは限られた睡眠と入浴時間だけです。まさに気力・体力・知力の限界を超えた勝負でしたが、一日も欠席・遅刻・居眠りする事なく全授業に出ました。家内の理解とサポートにも助けられました。

最後の三つ目の大問題は、『カリキュラムを越えて自分が納得する勉強や成果を得る』事です。人生最後の大勉強と言い聞かせ、質量共に最大の勉強をしようと思い、まず量ですが興味があり役立ちそうな科目は全て履修したので2年間の必要単位62に対して、84単位をも習得しました。次に質は、特に4年生では自分で決めた各重点科目で範囲を超えて自主的に勉強や制作等を行い、質問や特別に時間を作って教えて頂き、カリキュラムを越えた成果を得て今年3月に卒業しました。

通して言えるのは“まず自らの勉学姿勢が他人を動かす”であり、“礼を尽くして教えを請う”や“三尺下がって師の影踏まず”が時代を超えた師弟関係の鉄則であると痛感しました。履修全科目の習得と想像以上の成績評価を頂き、超苦しかったけれどその時の音楽文化創造学科長の田中教授、岩本教授、長江先生、原田助手や和声学の小井先生他の諸先生のご指導の下で、名古屋芸大音楽学部サウンドメディア・コースで20才の学友と同等以上の勉強が出来、大学の素晴らしさを痛感しました。

今後はさらに勉強しながら、歌いたい人をプロデュースして行きたいと思います。

成果ですが、“歌手を発掘してオジリナル曲をプロデュース”し、インディーズ系のレコード会社のオーディションに合格して今年1月にアルバムCD『国際線　幡野やよい』がアットレコーズ社より全国発売されました（RE08-00024、1、200円)。ポップ調の歌謡曲ですがお求め方法は下記です。

◇インターネット　　詳細・視聴は http://records.jp/hatano/index.html

・楽天「おすすめ品屋」http://www.rakuten.co.jp/osusumehinya/　カテゴリ［アット・レコーズ］

・amazon　http://www.amazon.co.jp/　カテゴリ［ミュージック］「国際線　幡野やよい」で検索

◇全国有名CD店で注文販売：新星堂、タワーレコード、WAVE等（TSUTAYA、YUMEYAは不可)

なお、小生のPCアドレス等です。mail@hayaisa.com　URL:http://www.hayaisa.com/